

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名： 子宮頸癌に対する最適な小線源治療方法に関する研究

・目的： 子宮頸がんに対する小線源治療では、これまで一般的に腔内照射が行われてきた。ただし大きな腫瘍や不整形な腫瘍では、腔内照射では腫瘍を十分な線量でカバーできない場合がある。この問題を解決する目的で、近年では腔内+組織内照射が行われるようになっている。今回子宮頸癌の腫瘍の大きさや形状に合わせた適切な小線源治療方法を探索する目的で、これまでの放射線治療症例を遡及的に検討する。

。

・研究期間： IRB承認後～ 2028年 3月31日

・研究対象： 2013年6月1日～ 2021年 1月 31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 組織型、治療方法、放射線治療のパラメータ、局所制御、遠隔転移、骨盤内再発、無再発生存期間、直腸晩期有害事象、膀胱晩期有害事象

利用する者の範囲

： 埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 埼玉医科大学国際医療センター放射線腫瘍科 青鹿友美